

## 公共下水道事業特別会計

この特別会計には  
**12億2,770万円**  
 の予算を計上しています。

担当：建設水道部 上下水道課 業務係・施設係 Tel.39-2317

公共下水道事業は、地域住民に水洗化を促進啓発することにより、潤いのある快適で衛生的な生活環境の向上と快適な居住環境を形成すると共に、公共水域の水質汚濁防止を図るために、下水道整備区域の拡充と水洗化率の向上に努めています。

平成2年度より、供用開始となった富良野地区の公共下水道は前年度末で、処理区域面積474.1ha、処理区域人口16,847人、水洗化人口は15,594人、水洗化率が92.6%です。山部地区の特定環境保全公共下水道は平成14年度より供用開始となり、前年度末で処理区域面積66.3ha、処理人口1,391人、水洗化人口1,013人、水洗化率72.8%となっています。

国の負担額	1,500万円
富良野市の負担額	3億160万円
受益者の負担額（使用料・分担金等）	2億5,176万円
借入金	6億5,800万円
その他	134万円

### 《平成20年度予算》

一般管理費（人件費、賦課徴収事務委託料、消費税等）	8,509万円
水洗化普及促進費（改造資金貸付利子補給金等）	137万円
管渠管理費（燃料及び光熱水費、施設修繕料、雨水幹線清掃委託料等）	1,210万円
水質規制費（水質分析委託料等）	30万円
水処理センター管理費（燃料及び光熱水費、施設修繕料、通信運搬費、管理運転委託料、污泥運搬委託料、污泥処理委託料等）	1億1,584万円
管渠事業費（賃金、管路耐震診断業務委託料、污水管布設工事費等）	3,142万円
公債費（地方債償還元金、地方債繰上償還元金、地方債償還利子等）	9億8,058万円
予備費	100万円

### 《平成20年度の主な事業》

## ○公共下水道事業

この事業には  
**3,094万円**  
 の予算を計上しています。

担当：建設水道部 上下水道課 施設係 Tel.39-2317

平成20年度は、管渠工事が学田三区の污水管布設工事を行います。補償工事としては北1丁目の污水管移設工事を実施します。

その他としては、下水道事業耐震診断委託を行います。

国の負担額	1,500万円
富良野市の負担額	1,594万円

## 公共下水道事業特別会計

### □起債の補償金無し一括償還

担当：建設水津部 上下水道課 業務係 Tel39-2317

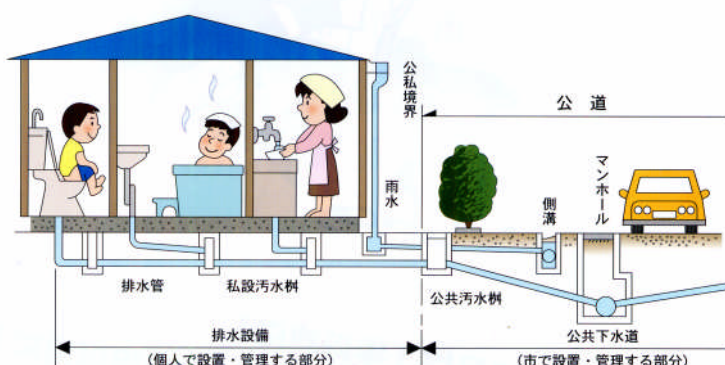
この一括償還には  
**5億1,475万円**  
の予算を計上しています。

平成19年度から3年間で国から借り入れている高金利の起債の補償金無し一括償還が認められたので、昨年度の7%以上の償還に続き、平成20年度は6%以上7%未満の5億1,474万円を市内の金融機関に借り換えて償還を行う事業です。これにより、富良野市が支払う利子が軽減されます。

### □下水道接続のお願い

担当：建設水道部 上下水道課 業務係 Tel39-2317

下水道は本管工事が終了した区域の方は、4月から「処理開始区域」となります。生活雑排水は1年以内に、トイレは3年以内に水洗化しなければなりません。下水道に接続するようにお願いいたします。排水設備工事は、水洗化等改造資金助成制度の対象となり補助金又は無利子貸付のいずれかが受けられます。



#### 水洗化等改造補助金制度の補助の条件

- ・ 公共下水道を使用できる地区になった日から3年以内に水洗化改造工事を完成させること
- ・ 公共下水道を使用できる地区になった日から1年以内に排水設備改造工事を完成させること。
- ・ 市税又は公共下水道受益者負担・分担金を滞納していないこと  
(受益者負担金・分担金が賦課されていない場合は、滞納しないことが義務付けられます。)

#### 水洗化等改造資金貸付制度の条件

- ・ 公共下水道を使用できる地区になった日から3年以内に汲み取り便所を改造すること。
- ・ 公共下水道を使用できる地区になった日から1年以内に流し・風呂の排水設備工事をを行う場合。

## 簡易水道事業特別会計

この事業には  
1億6,660万円  
の予算を計上しています。

担当：建設水道部 上下水道課 業務係・施設係 Tel.39-2317

簡易水道事業は、計画給水人口が5,000人以下の水道事業であり、市内には『島の下簡易水道』、『学田地区簡易水道』、『富丘地区簡易水道』、『布部市街地区簡易水道』、『山部市街地区簡易水道』、『東山市街地区簡易水道』と道内の市でも最も多い6地区の簡易水道があります。

市では効率的な運営と施設の適正な維持管理を図ることを目的として施設の維持管理を中心に事業を実施しています。

富良野市の負担額	7,730万円
受益者の負担額	3,790万円
借入金	5,050万円
その他	90万円

### 《平成20年度予算》

一般管理費（人件費、検針委託費、固定資産評価委託料、消費税等）	1,935万円
施設管理費（燃料費及び光熱水費、施設修繕料、通信運搬費、施設管理委託料、水質検査委託料、工業計器保守点検委託料等）	3,137万円
簡易水道事業費（量水器取替工事費、計装機器更新工事費等）	859万円
公債費（地方債償還元金、地方債繰上償還元金、地方債償還利子等）	1億709万円
予備費	20万円

### 《平成20年度の主な事業》

## ○簡易水道事業

この事業には  
1,725万円  
の予算を計上しています。

担当：建設水道部 上下水道課 施設係 Tel.39-2317

平成20年度は、設置より16年を経過した布部市街地区簡易水道計装機器更新工事を実施します。その他として、水道事業と将来は統合しなければ水源開発等の補助を打ち切るという国の方針により、固定資産評価業務委託を実施します。また、量水器取替工事を実施します。

## □起債の補償金無し一括償還

この一括償還には  
4,656万円  
の予算を計上しています。

担当：建設水道部 上下水道課 業務係 Tel.39-2317

平成19年度から3年間で国から借り入れている高金利の起債の補償金無し一括償還が認められたので、昨年度の7%以上の償還に続き、平成20年度は6%以上7%未満の4,656万円を市内の金融機関に借り換えて償還を行う計画です。これにより富良野市が支払う利子が軽減されます。